

新生「はいむるぶし」のコンセプト「ぬちぐすいリゾート」

そしてこの夏、「はいむるぶし」が大リニューアル。エントランスロビーやレストラン、テラス、客室が大変貌を遂げます。コンセプトとなるのは『ぬちぐすい(命薬)リゾート』。ぬちぐすいとは、沖縄の考え方で美しい風景やおいしい料理などに出会い、心温かくなり、癒されることなのだそう。「はいむるぶし」はこれまでの長い歴史で培ってきたものをベースに、さらに八重山地方の伝統とそれに根付いた文化、自然との共生を活かした滞在空間や料理を提供する施設へと新たに生まれ変わります。今回のリニューアルの目玉を少しだけご紹介!

Mayumi's Petit Macrobiotic Menu 西邨マユミ プロデュースの プチマクロメニュー

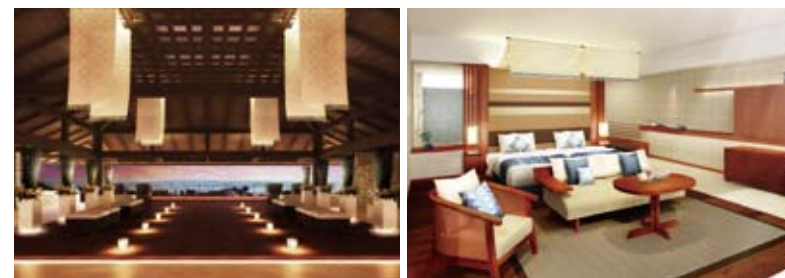


西邨マユミ (にしむら まゆみ)
マクロビオティック・コーチ兼プライベートシェフ。マクロビオティックの世界的権威である久司道夫氏の下で、料理主任に就任、がん患者の料理指導にあたる。01年マドンナのプライベートシェフに抜擢、マクロビオティックを世界的に注目させる。現在日本に拠点を移しつつ、世界各地で精力的に活動中。近著『Mayumi's Kitchen 日本語版』(講談社)。
<http://mayuminishimura.com/>

かねてから施設内の「はいむるぶし農園」で八重山地方の野菜などを栽培してきました。そこで採れた食材や地元漁港で水揚げされた魚介類などを使った「ぬちぐすいブッフェ」では、「地産地消」の料理を楽しむことができました。今回のリニューアルにあたり、さらにその食材を活かした料理を届けるべく、マドンナのプライベートシェフを務める西邨マユミさんにメニューの開発を依頼。彼女の監修のもと、「ぬちぐすい(命薬)」の名にふさわしいプチマクロ料理が、期間限定で新たなメニューとして加わることになりました。今回は、「はいむるぶし」でしか食べられない、西邨マユミさんのプチマクロ料理もたっぷりご紹介いたします!

Yaeyama Nature Retreat 自然を感じながら行う 「ぬちぐすいアクティビティ」

新しく誕生する客室「オーシャンプレミア」や「オーシャンビュースイート」では、八重山の薬草から抽出したオリジナルアロマオイルを使ったスパメニューを展開。そして、従来のマリンスポーツや「はいむるぶし農園」での収穫体験などのアクティビティに、小浜島の環境を生かし自然との一体感を堪能出来る、ヨガやサイレントウォーク、ポールウォーキング(スキーストックに似たポールを持って歩くウォーキング)やジョギングなどが加わります。コース設計を手がけるのは、元オリンピック1万メートル代表の遠藤司氏です。「命の薬」に特化したメニューが増えたことで、これまで以上に心身ともにリフレッシュできるようになります!



※写真はイメージです



遠藤司氏(ソウルオリンピック1万メートル代表選手)。※写真はイメージです
安全で快適なコースをプロデュースします。



Yaeyama Traditional Culture 八重山伝統文化が 凝縮された滞在空間

リニューアルする空間は、八重山地方の伝統的な染織物「八重山上布」や、赤茶色の木材「ヤラブ」の文様・色彩が空間デザインに取り入れられています。そのほか、「琉球石灰岩」や古民家の印象的な「面格子」や「竹の網代」、八重山のかつての生活に欠かせなかった「水がめ」や「民具」など、この島ならではの風土や文化を感じさせる滞在空間が広がっています。詳細は次号で徹底レポート! 写真は「かあちばいテラス」と新客室の「オーシャンプレミア」。

To Be Continued...

次号では、西邨マユミ氏プロデュースのメニューやリニューアル後の「はいむるぶし」をご紹介!

日本最南端リゾートホテルが 今夏リニューアル! 「はいむるぶし」で見つける“命の薬”

沖縄本島からさらに400km南下した場所に位置する八重山諸島。そこは北半球最大規模のサンゴ礁に囲まれた島々です。そのうちのひとつ、小浜島で30年以上の歴史を誇るリゾートホテル「はいむるぶし」。今回からスタートしたこのシリーズは、7月7日にリニューアルオープンする「はいむるぶし」を追いかけた連続企画です。まずはイントロダクションとして、新生「はいむるぶし」をご紹介!

写真提供: はいむるぶし

About Kohama Island まずは小浜島について 知ってください

沖縄本島から400km南下した場所にあり、石垣島と西表島に挟まれている小浜島。この島が一躍注目されるようになったのは、2001年にNHKの朝の連続テレビ小説『ちゅらさん』の舞台となったことがきっかけでした。ドラマに使用された住宅やロケ地をめぐる旅は、今でも好評を博しています。徒歩でも1日あれば一周できるこの小さな島を訪れた人は、ノスタルジックな気分ひたらせる風景と、時間が止まったかのようなのどかさの虜になってしまいます。「はいむるぶし」は、30年以上の伝統ある南の楽園リゾートです。

See The Southern Cross 「はいむるぶし=南十字星」

「はいむるぶし」という私たちに耳慣れない言葉は、実は南十字星を意味する八重山言葉です。そう、日本国内でもこの八重山地方だけでしか見ることができない南十字星を目にすることができる場所として名づけられました(冬から初夏にかけて)。1979年にオープンし、「スローライフ」という言葉が脚光を集める以前から、島の自然に癒される、かけがえのない時間と場所を訪れる人に提供してきました。

- ①美しい海が広がる小浜島の遠景
- ②小浜島はこんな場所にあります
- ③ドラマのロケにも使用されたシュガーロード
- ④園内には大きなガジュマルの樹が
- ⑤美しいサンライズに心が洗われます
- ⑥水牛には園内の「水牛池」で出会えます

